

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	河川課長 田中 悟	電話番号	0852-22-5195
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	ダム管理事業		
目的	(1) 対象	下流域住民	
	(2) 意図	洪水被害や濁水被害から守る。	
事業概要	○洪水調節：洪水から下流域住民を守るため、ダムの洪水調節を実施する。 ○利水補給、濁水調整：濁水から下流域住民を守るため、ダムから利水補給を実施し、また、必要に応じて関係機関との調整を実施する。 ○施設の維持管理：ダム機能維持のため、施設の点検及び老朽施設の修繕、更新を実施する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	県民の安全安心な暮らしの確保率（％）	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	％
	式・定義	(A-B)/A ※A=洪水調節日数+補給日数、B=被害日数（計画規模を超えるものを除く）	取組目標値					
			実績値	100.0				
			達成率	-	-	-	-	％
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	％

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	769,897	902,689
うち一般財源 (千円)	213,762	308,979

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	(未選択)
---------------------	-------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

洪水調節、利水補給を実施するため適切な維持管理に努める。 ・出水期前にダム管理演習を開催し、危機管理体制を確認 ・濁水に備え、降雨、流況を把握するとともに、必要に応じて調整協議を実施 ・機器の定期的な点検、保守を実施 ・耐用年数を経過した設備、機器の計画的な更新及び予算の平準化、最小化を図るため、長寿命化計画を策定
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

ダムの適切な洪水調節、利水補給の実施により、流域住民の安全安心な暮らしが守られた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」 ・限られた予算で各設備の点検結果や老朽化の状況に応じて計画的な更新を行う必要がある
②困っている状況が発生している「原因」 ・機器更新の主たる財源である交付金事業について、国の予算配分が厳しく、要望額に至らない割当額となっている。
③原因を解消するための「課題」 ・長寿命化計画実施に向けた予算確保 ・ダム長寿命化計画の早期策定

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・ダム長寿命化計画実施に向けた予算確保を働きかける。 ・事業実施にあたり、予防保全的な手法を取り入れ、ライフサイクルコストの低減を図る。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--